

文部科学大臣様

教 財 第 385 号 一 1
平 成 28 年 3 月 10 日

静岡県知事 川勝 平太

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8の1に基づき、施設整備計画における事後評価の結果を報告します。

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

*この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

【達成状況】

- 計画どおり実施できた。
- 計画したが、一部実施できなかつた。
- 計画したが、すべて実施できなかつた。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

| 学校区分 | 耐震化率(%) | |
|--------|---------|------|
| | 目標 | 達成状況 |
| 小学校 | - | - |
| 中学校 | 100 | 100 |
| 高等学校 | 100 | 100 |
| 特別支援学校 | 100 | 100 |
| 幼稚園 | - | - |

【所見】

(浜松櫻覚特別支援学校)
立入禁止区域としていた中庭がまた児童の遊戯場として使用できるようになり、また、建物外壁のモルタル等の落下防止対策ができたことはすばらしいことである。」
との意見があつた。

(静岡県特別支援学校)
通学経路としたが外壁落下危険区域にしたことにより、児童生徒が安全に避難できるようになつた。学校評議員から「整備後安全が確保でき通行ができるようになつた(遠回りしていかにとが解消された)。PTA役員から「整備を実施し、学校の防災強化を図つていくことは、親の立場からすれば安心感につながる。地域防災の観点からも信頼・連帯を深めていける。」との意見があつた。

(静岡櫻覚特別支援学校)
外壁の落下により児童・生徒が負傷する不安が減少した。PTA役員から「防災のために工事をしてもらい、子供たちの安全対策の向上につながつてよかつた。」との意見があつた。

(名津鶴覚特別支援学校)
校舎は老朽化が目立つており、外壁補修を実施したこととは、非常に障害を持つ児童生徒にとって安全な学校生活を保証するうえで有効であった。寄宿舎については入舎生が一日のすべての時間を学校と「寄宿舎」で過ごすため、施設強化を実施したことは保護者に対して大きな安心感を与えた。自ら着手したといふ点で、生徒に対する防災上の効果があつたと思われる。」等の意見があつた。

(浜松櫻覚特別支援学校)
外壁の亀裂が埋まり、外壁落下の危険が減少した。保護者から「今回の対象校以外もさらなる対策工事をお願いしたい。」趣旨の意見があつた。

(富士特別支援学校)
目立ちにくい工事箇所であるため、生徒に対する防災上の効果があつたと思われる。PTA役員から、「大事故を未然に防ぐために小さなところから着手したといふ点で、生徒に対する防災上の効果があつた」との意見があつた。

(藤枝特別支援学校)
窓のひさし部分における落下の危険がなくなり、学校敷地内における職員・生徒の安全な通行が確保された。また、福祉避難所になつてしているため、大規模浸水が発生した際に、安心して防災拠点としての役割を果たすことができる。PTA会長から「ここ数年、全国各地で老朽化した建物の外壁やタイルの落下事故が相次いでおり、本校においても事故の発生を危惧していたが、今回の工事で、その解消ができ、安心して子どもを学校に送り出すことができる。」との意見があつた。

(東部特別支援学校)
外壁等の落下の危険性が除去され、防災上大きな効果があつた。PTA会長から「学校生活に支障が出ないよう、工事が実施された。事業実施により防災機能が強化され、児童生徒の安全性が高まつた。」等の意見があつた。

(中央特別支援学校)
寄宿舎の外壁落下の危険がなくなつたので、安心してベンチ等を通行することができている。体育館についても、安心して授業や学校行事を行うことができる。PTA会長から「外壁が明るく美しくなることで外観の印象が変わり、訪れる地域の方々の印象も変わつた。「訪れやすく」「来やすくなつた。」地域との連携という観点からも、大きな防災強化の力となる。」との意見があつた。

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

| | |
|--------------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | 計画どおり実施できた。 |
| <input type="checkbox"/> | 計画したが、一部実施できなかつた。 |
| <input type="checkbox"/> | 計画したが、すべて実施できなかつた。 |

【所見】

③教育環境の質的な向上を図る整備

【達成状況】

| | |
|--------------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | 計画どおり実施できた。 |
| <input type="checkbox"/> | 計画したが、一部実施できなかつた。 |
| <input type="checkbox"/> | 計画したが、すべて実施できなかつた。 |

【所見】

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【達成状況】

| |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施できた。 |
| <input type="checkbox"/> 計画したが、一部実施できなかつた。 |
| <input type="checkbox"/> 計画したが、すべて実施できなかつた。 |

【所見】

【一般施設】

(仮称)引佐地区新構想高等学校
新設された校舎構造では普通科、農業科、工業科による温かみのある施設であり、教育効果が期待できる。「全体的に透明感にあふれ、かつ、県産木材使用による温かみのある施設であり、教育効果が期待できる。」との意見があつた。

(天竜高校)

製図室：2・3年生の製図実習の授業はどちらかん放課後に意欲のある生徒が自主学習に使用している。CAD室：1年生「産業社会と人間」科目、2年生CAD実習、3年生CAD実習、課題研究の授業にその教科課題に係る授業が展開されている。PTA役員から「全般的に透明感にあふれ、かつ、県産木材使用による温かみのある施設であり、教育効果が期待できる。」との意見があつた。

(天竜高校)
製図室：2・3年生の製図実習の授業はどちらかん放課後に意欲のある生徒が自主学習に使用している。1年生には3DCADに触れ、建築の初步を知り、2年生は木造住宅の図面作成、3年生は対外的なコンペティション、プレゼンテーションへの出展に活用している。課題研究で利用している。実習スペースが広く、安全な実習環境を確保するこどができます。木材材料実験室：2・3年生の総合実習、3年生選択実習業の林産加工業、課題研究で利用している。教室スペースを活用して映像による学習の定着を図っている。

乾燥講義室：2・3年生の総合実習、3年生の課題研究で利用している。教室スペースが広く、機器等を使用しての実習の事前説明や演示等を行つてい林産実習室：3年生の総合実習で利用している。エレンジ栽培をしており、室内が広く、機器を置いても十分なスペースがあるため、作業が行いやすい。この室で一年間を通じてキノコ類の接種から収穫までの一連の実習を行うことができる。乾燥室：1・2・農業科3年生の総合実習室で利用。乾燥室のスベースが広く、乾燥機を利用した実業展開が可能である。

福祉実習講義室：介護実習室と講義室が隣接している。講義後、スムーズに実習ができるようになっている。

PTA役員から「これまで私たちのが爪山あるように感じた。これらのお機器等を使いたい。」「地域に開拓した施設の充実化が何よりも必要だと感じる。設備付ける技術及び機器等の導入を希望したい。」「各分野において専門的就職しても十分やつていいのではないか」という意見があつた。

(清流館高校)

入浴実習棟：福祉科2年生の科目「生活支援技術」において、主に7月の施設実習に行く前に当該施設を利用して実習を行つている。入浴実習室は、介護福祉士養成施設としての指定を受けたため、本校も基準を満たして養成施設として指定されている。学校評議員から「実習を行うのに十分な設備が完備されたすばらしい施設なので、これからも学校の目玉として授業等に活用することと、福祉分野等で必要な知識・技能を習得し、社会で活躍する優秀な人材を育成することが期待できる。」との意見があつた。

【特別装置】

(天竜高校)

CAD装置：個別ディスプレイに加え、教員の演示を映すセンターディスプレイを有効活用し、生徒の理解を深めている。3DCADは、初めて履修する1年生の導入部分から3年生の対外的なコンペティションまで幅広く使用されている。

CG実習装置：1年生の「産業社会と人間」科目において、コンピュータラフィックスの実習を行つている。また、デザイナーグループの視野を広げることができるNCルーター：3年生の総合実習、林産加工実習、課題研究で使用している。プログラミングから加工までの工程を指導できる機能となつており、円弧など複雑な加工が可能で、木工製作ではより精巧な作品作成が可能となった。また実習準備(木工)においても、必要な材料の加工に要する時間を短縮でき、他の指導分野に比べて時間を使つることが可能となつた。

木村万方能試験機：3年生の総合実習、課題研究において使用している。既存の機器よりも多様な木材の引張、圧縮、曲げ、引裂等の試験を見せることがでできる。また顎微鏡や液晶プロジェクターにより、より効果的な内容の授業を展開することができた。

PTAの役員より「我々の頃には見たこともない機材類が揃つており、将来の日本の工業、農業を支えていく人材を輩出する為にも有効利用をしてほしい。」「最先端の機器で学習できることは、生徒達にとってかけがえのない経験となり、効率的な授業が受けられると思う。」等の意見があつた。

(伊東商業高校)

情報基礎実習装置：情報処理分野の授業で使用しており、「生徒への練習問題等のデータの提供が円滑に行えるようになつた。」「「学習支援システム」により、生徒の学習状況の把握ができるようになつた。」「機器の管理が一括ででき、管理するうでの利便性が向上した。」という教員からの意見があつた。学校評議員からは、「教育活動の質的、量的の向上に十分寄与している。今後さらに有効利用し、より質の高い教育の提供をしてほしい。」との意見があつた。

(沼津工業高校)

自動設計製図装置：工業基礎（1年6単位）・実習（2年2単位、3年2単位）・課題研究（3年3単位）において、建築CADの実技で活用している。企業でも広く使われている3DCADソフトもインストールされ実践的な能力を身に着けている。「建築科では、設計製図にはばかりの時間を充當している。ドラフターを利用して図面作成の基本を学んだ後は、CADで図面を作成する。作成した図面から立面図を求めることができ、制作時間が短縮できた上に、実際の建物がイメージできるために導入効果は大きい。」と学校評議員から意見があつた。

(沼津商業高校)

情報基礎実習装置：商業科の授業を中心に行なわれており、「センターモニターが設置されているため、スクリーンに投影された教材が見えにくいくらいといった」「情報社会に対する問題点が解消されている。生徒も間近に教材を見ることがができるので集中的に授業を集中して行なっている。」「教員から意見がある。」「建築科では、設計製図において、建築CADの実技で活用している。」「建築科では、設計製図にはばかりの時間を充當している。」「ドラフターを利用して図面作成の基本を学んだ後は、CADで図面を作成する。作成した図面から立面図を求めることができ、制作時間が短縮できた上に、実際の建物がイメージできるために導入効果は大きい。」と学校評議員から意見があつた。

(吉原工業高校)

工作機械：最新鋭の数値制御による工作機械が導入されたことにより、この設備を活用した授業が積極的に行われるようになつた。これまでの設備では、設計者は設計、加工は加工と、単独でしか授業を行えなかつたが、導入後電子データを設計から加工まで引き継いで利用できるようになり、「もの」としてアワと科目がリンクされ、授業の進め方や実習を行えるようになつた。一方、教わる側の生徒は、自分で製図した3次元画面が、「もの」としてアワトブツトド表示されるようになり、「新しい機械を導入したことにより、これまでには基礎的な加工技術だけであつたものが、高度な加工技術まで幅広く学べるようになり素晴らしい。」との意見があつた。

(島田工業高校)

自動設計製図装置：2・3年生の製図の授業に使用し、2D・3DのCADを行つている。以前使用していた機器は老朽化のため不安全であつたが、今回の機器導入によって、効率よく授業を行うことができた。学校評議員から「新しい機器が導入されたので、大いに活用してほしい。」という意見があつた。

(袋井商業高校)

情報処理装置：2年生ビジネス情報（情報処理検定2級）、2・3年プログラミング（Java）等の授業、放課後の日本語ワーク部の活動で利用しておられ、「より実践的な授業展開が可能となった。」「以前と比べて、大きな画面で見やすく、生徒の学習意欲の一層の向上にも役立つている。」「セシナーモニターから、教師画面を生徒側に映し出すことができる。」「生徒は操作することができる。」「生徒の理解が深まつた。」という意見が教員からあつた。学校評議員からは「商業高校において、実践教育の充実のために、最新のOS等、先端技術を導入することは大変重要なことである。新しいものを見つめたい」という意見があつた。

(浜松工業高校)

自動設計製図装置：製図、実習、課題研究での利用が非常に多くなり、放課後も多くの生徒（部活動、課題研究）が利用し、CADの操作を習得できている。また技能検定CAD製図に挑戦する生徒も増えている。「パソコン、CADソフトが更新されCAD実習の取り組みが向上した。」等の学校評議員からの意見があつた。

(浜松大平台高校)

情報応用実習装置：3年生の「課題研究」の授業において、3Dプリンターを利用して立体を作成し、生徒の興味を持たせる授業展開ができている。「デザイン技術」の授業において、ロゴデザイナーを用いて、今までできなかつた授業展開ができるようになつた。「産業界からも注目される3Dプリンターを活用し、ITリテラシーとCAD能力の習得に効果が上がっている。」との学校評議員からの意見があつた。

事後評価の時期及び方法について

2

各学校において、学校評議員会、PTA役員会等を開き事後評価を行った。

3

事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

施設整備計画に計上していいた事業について、計画どおり実施でき、学校評議員やPTA等から効果があるとの評価を受けている。
今後も長期的なスパンで事業効果が期待できる施設整備を進めていく。

施設整備計画 事後評価シート(個別票)

1 計画名称 静岡県公立学校等施設整備計画

2 計画作成主体 静岡県

3 計画期間 平成25年度～平成26年度

4 個別事業一覧

*この個別票については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

| 学校名 | 整備区分 | 事業番号 | 事業名 | 建物区分 | 構造区分 | 事業実施の有無 | (事業を実施した場合) 竣工年月日 | | (事業を実施しなかった場合) 実施できなかつた理由及び今後の方針 | | 施設整備計画の変更 事由 | 変更新年月日 | 備考 |
|----------------|------|------|--------|------|-------|------------|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------|--------|----|
| | | | | | | | (事業を実施した場合) 竣工年月日 | (事業を実施しなかった場合) 実施できなかつた理由及び今後の方針 | | | | | |
| (仮称)浜松聴覚特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○ | 平成27年1月14日 | | | | | | | |
| (仮称)浜松聴覚特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 寄 | ○○○○○ | 平成27年2月27日 | | | | | | | |
| (仮称)静岡聴覚特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年2月20日 | | | | | | | |
| (仮)沼津聴覚特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年2月26日 | | | | | | | |
| (仮)浜松聴覚特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年2月26日 | | | | | | | |
| (仮)富士特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年3月10日 | | | | | | | |
| (仮)静岡北特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年3月9日 | | | | | | | |
| (仮)静岡北特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年2月27日 | | | | | | | |
| (仮)藤枝特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年3月11日 | | | | | | | |
| (仮)東部特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年1月22日 | | | | | | | |
| (仮)中央特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年1月22日 | | | | | | | |
| (仮)西部特別支援学校 | ① | 2201 | 防災機能強化 | 校 | ○○○○○ | 平成27年1月23日 | | | | | | | |
| (仮)引佐地区新規規高等学校 | ④ | 1101 | 一般施設 | 一般施設 | 一般施設 | 一般施設 | 平成26年3月7日 | | | | | | |
| 天童富士高等学校 | ④ | 1101 | 一般施設 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 平成26年3月20日 | | | | | | |
| 清流館高等学校 | ④ | 1106 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 平成26年3月27日 | | | | | | |
| 伊东商業高等学校 | ④ | 1106 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 平成26年2月7日 | | | | | | |
| 沼津商業高等学校 | ④ | 1106 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 平成26年2月28日 | | | | | | |
| 吉原工業高等学校 | ④ | 1106 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 平成26年3月17日 | | | | | | |
| 島田工業高等学校 | ④ | 1106 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 平成26年3月31日 | | | | | | |
| 森井商業高等学校 | ④ | 1106 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 平成26年3月20日 | | | | | | |
| 浜松工業高等学校 | ④ | 1106 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 平成26年3月25日 | | | | | | |
| 浜松大平台高等学校 | ④ | 1106 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 特別装 | 平成26年3月27日 | | | | | | |